

MINC の会「第 2 回海外医療機器の最新動向勉強会」

日 時 平成 30 年 1 月 24 日 18:00~20:00

会 場 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
研修センター棟 4 階 セミナー室 3・4

プログラム

進行役：日本医工ものづくりコモンズ
専務理事 柏野 聡彦

1. 開会挨拶 18:00-18:10
 - 谷下 一夫 日本医工ものづくりコモンズ 副理事長
 - 大西 真 国立国際医療研究センター病院 病院長
日本医工ものづくりコモンズ 理事
 - 前島 洋平 株式会社カワニホールディングス 代表取締役社長
日本医工ものづくりコモンズ 評議員

2. 来賓挨拶 18:10-18:20
 - 宮原 光穂 経済産業省 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室長
 - 徳本 史郎 厚生労働省 医政局 総務課 医療国際展開推進室 室長
 - 柳沼 宏 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課
 - 扇谷 悟 日本医療研究開発機構 (AMED) 産学連携部 上席調査役
 - 佐藤 直 東京都産業労働局 商工部創業支援課 課長代理

3. 医療機器に関わる政策紹介 18:20-18:30
 - 宮原 光穂 経済産業省 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室長
「経済産業省における医療機器産業政策について」

4. 勉強会の進め方について 18:30-18:35
 - (1) 教材の紹介／海外情報誌「Medical Globe」
佐藤 崇 Medical Globe 編集長
 - (2) 本日の記事選定・講師紹介
福田 尚司 国立国際医療研究センター 医工連携推進室長
日本医工ものづくりコモンズ 評議員

5. 海外医療機器の動向紹介とディスカッション 18:35-19:55
 - (1) MIMOSA 社の糖尿病性潰瘍の早期検出デバイス MIMOSA
 - (2) QT Vascular 社が DCBChocolate Touch の臨床試験を米国で開始
 - (3) VentureMed 社の PAD 用スコアリングカテーテル FLEX
 - (4) RDN 用デバイス Symplicity Spyral の試験結果が公開
 - (5) メドトロニックが DES の DAPT 期間を 1 カ月に短縮する臨床試験を開始
 - (6) NeuroVision 社の網膜イメージングによる AD の早期診断装置
 - (7) Second Sight 社の大脳皮質刺激型人工眼システム Orion

6. 講評・閉会挨拶 19:55-20:00
 - 福田 尚司 国立国際医療研究センター 医工連携推進室長
日本医工ものづくりコモンズ 評議員
 - 谷下 一夫 日本医工ものづくりコモンズ 副理事長

【名刺交換会・情報交換会 20:00-20:15】

次回予定：第 3 回 平成 30 年 3 月 8 日 (木) 18:00~20:00